

副業アカデミー FX講座

「対称理論 基礎編」

(1) 安値と高値の関係性に着目した視点

- ある「安値」と「安値」or「高値」は何かしらの関係性があり形成されている
- それらはラインに対して、延長上にあるのか、反転しているのか、という視点

(2) 対称関係は大きく分けて2つです

- ① 平行対称
- ② 交差（反転）対称



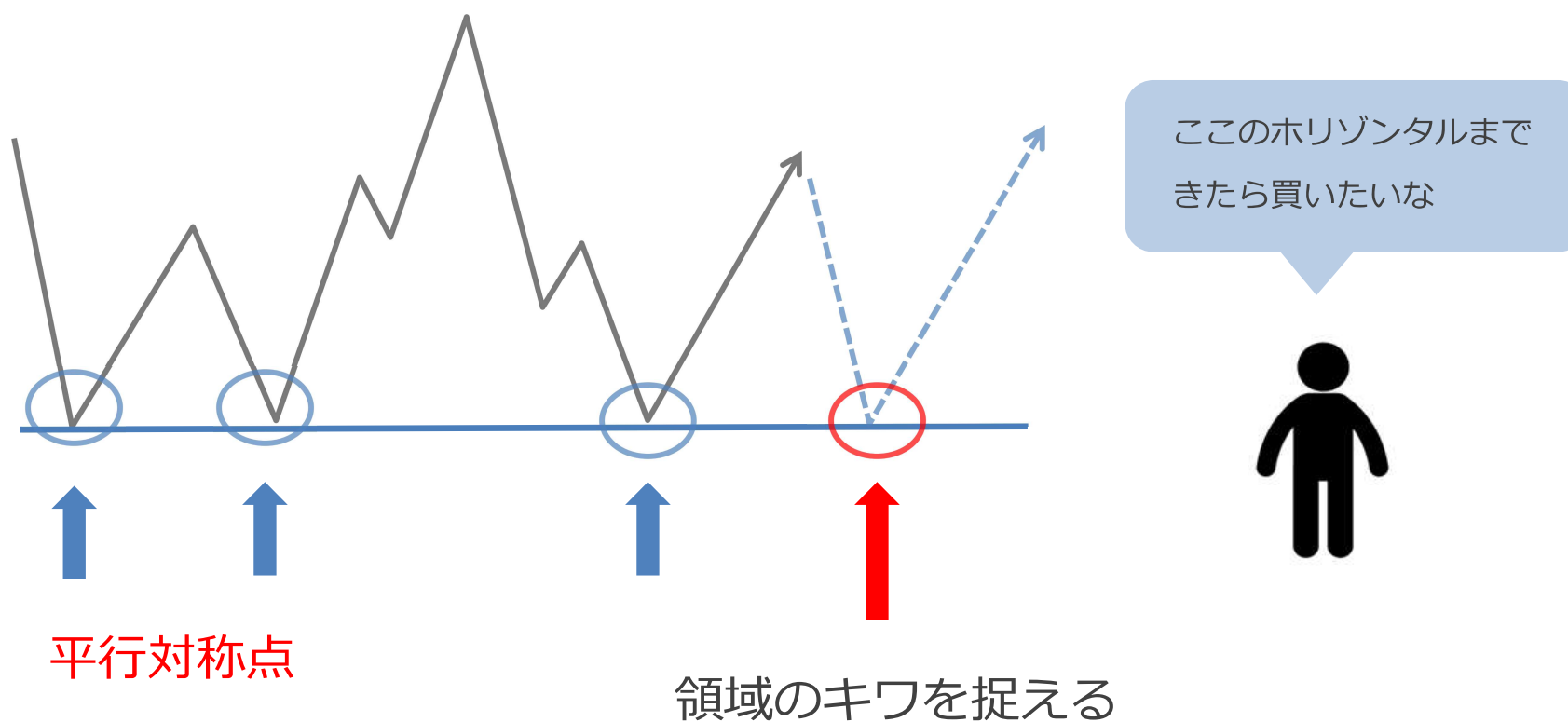
**対称のイメージができるようになると
ライン引き&値動きを捉える視点が強化される**

1. 平行対称
2. 交差（反転）対称
3. イメージ集

1. 平行对称

ラインに対して安値や高値が延長上にある関係性

- ・ ラインの延長上にある → サポート、レジスタンスの意識が同じ
- ・ 今まさに意識されている領域がどこなのか捉えていくための目線

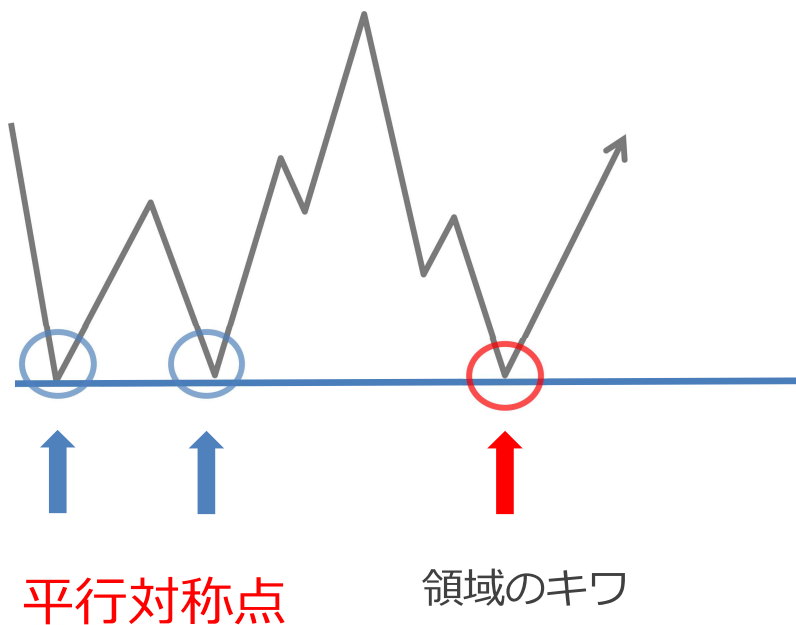


1. ホリゾンタルタイプ^o (大ダウ目線)

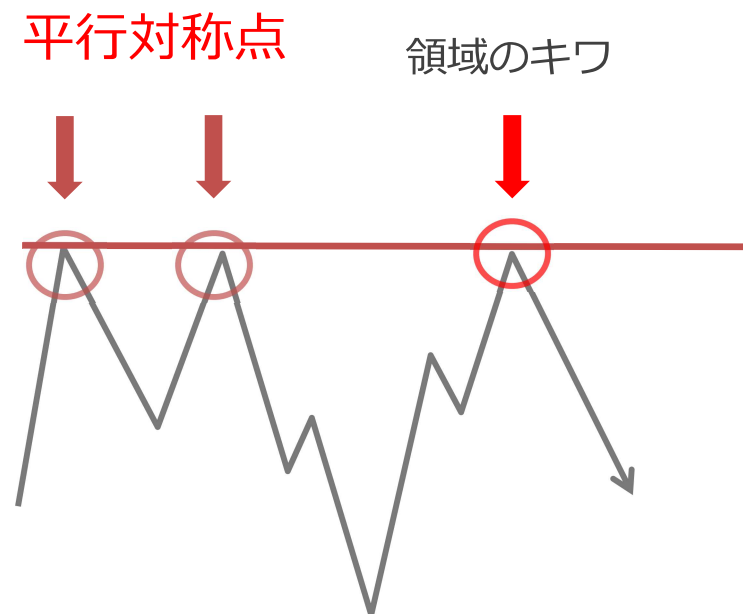
大ダウ目線でザックリと捉えた場合

- ・ブレイクされない限り、大ダウの領域は変化しない

・ サポートの意識



・ レジスタンスの意識

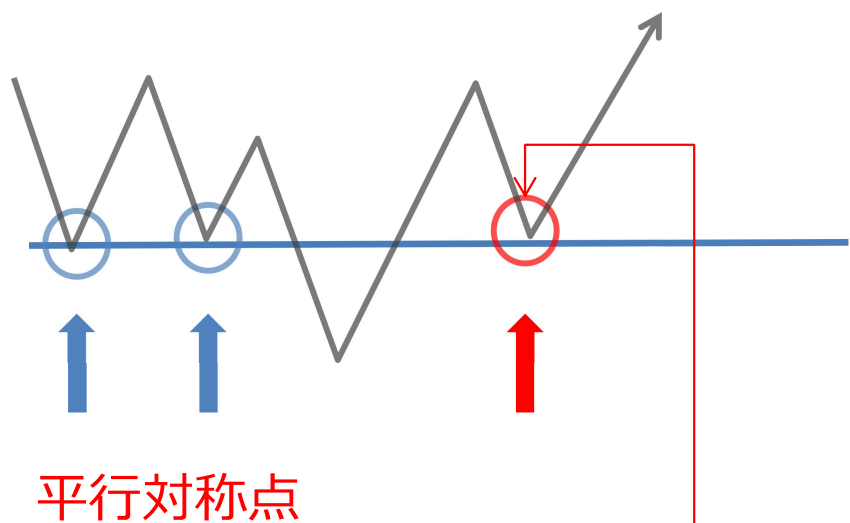


1. ホリゾンタルタイプ (小ダウ目線)

小ダウ目線で細かく捉えた場合

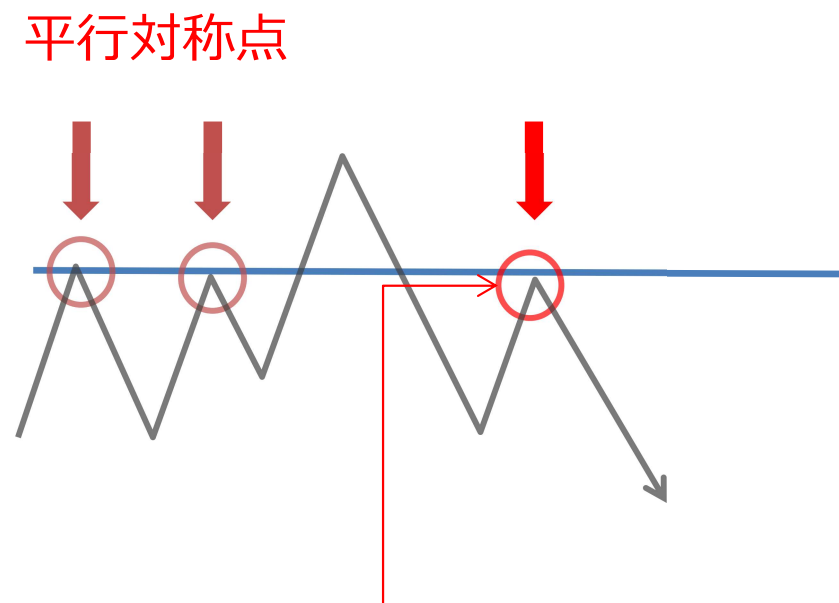
- ・小ダウ目線はキツでない分、変化しやすいが「意識の復活」を捉えやすい

・ サポートの意識



サポートの意識の復活

・ レジスタンスの意識



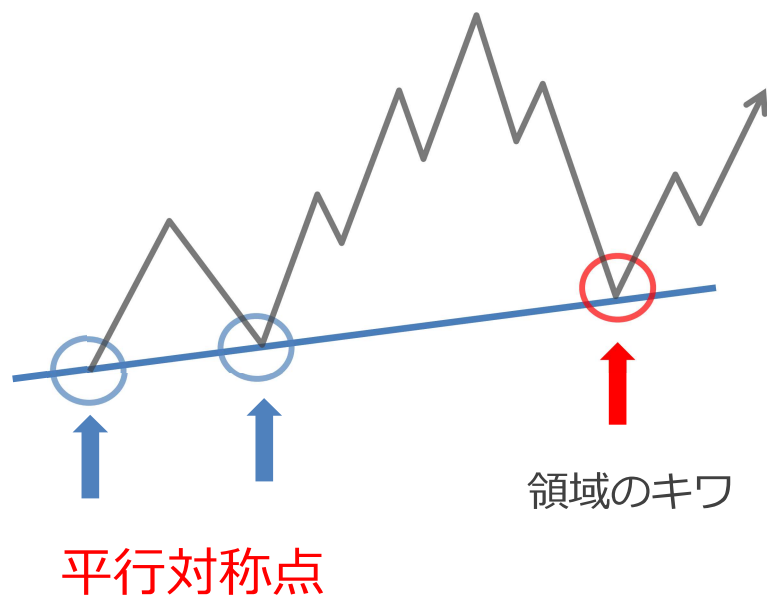
レジスタンスの意識の復活

2. トレンドラインタイプ^o (大ダウ目線)

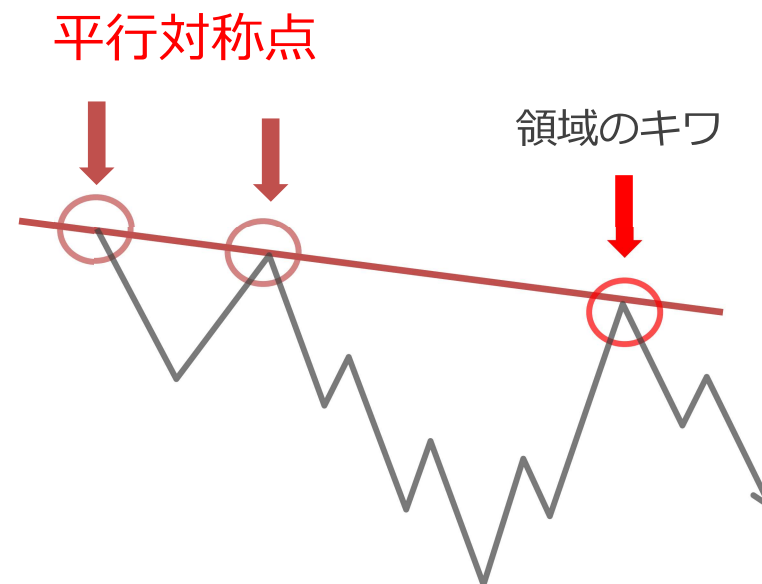
大ダウ目線でザックリと捉えた場合

- ・ 緩やかな角度で対称点を捉えて大ダウの領域のキワを把握する

・ サポートの意識



・ レジスタンスの意識

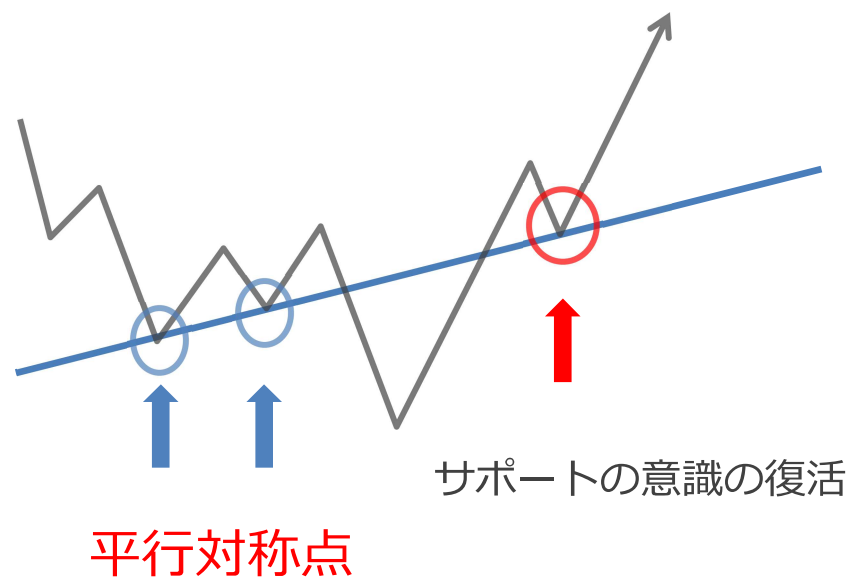


2. トレンドラインタイプ° (小ダウ目線)

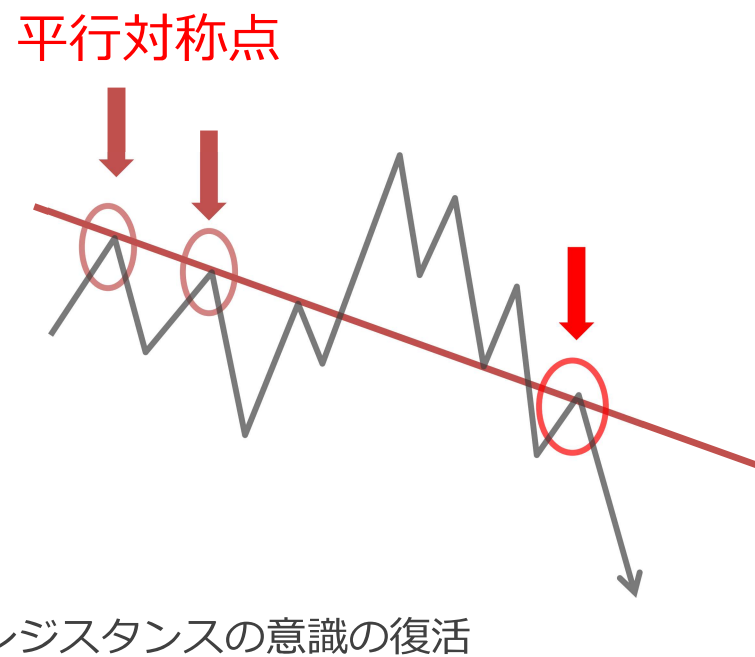
小ダウ目線で細かく捉えた場合

- ・ ホリゾンタル同様「意識の復活」を捉えやすい

・ サポートの意識



・ レジスタンスの意識

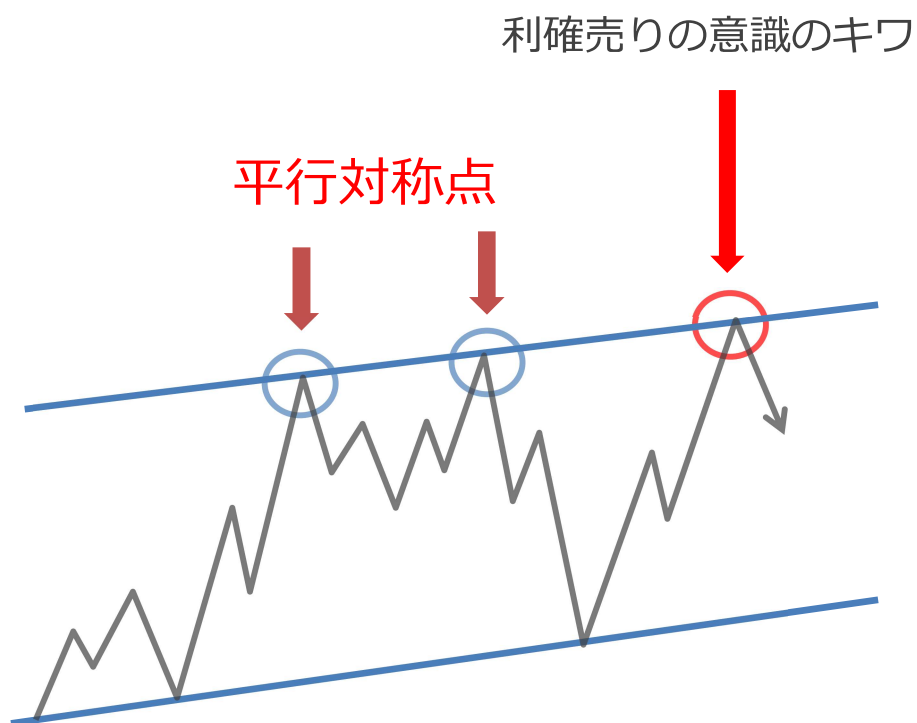


3. チャネルラインタイプ^o (大ダウ目線)

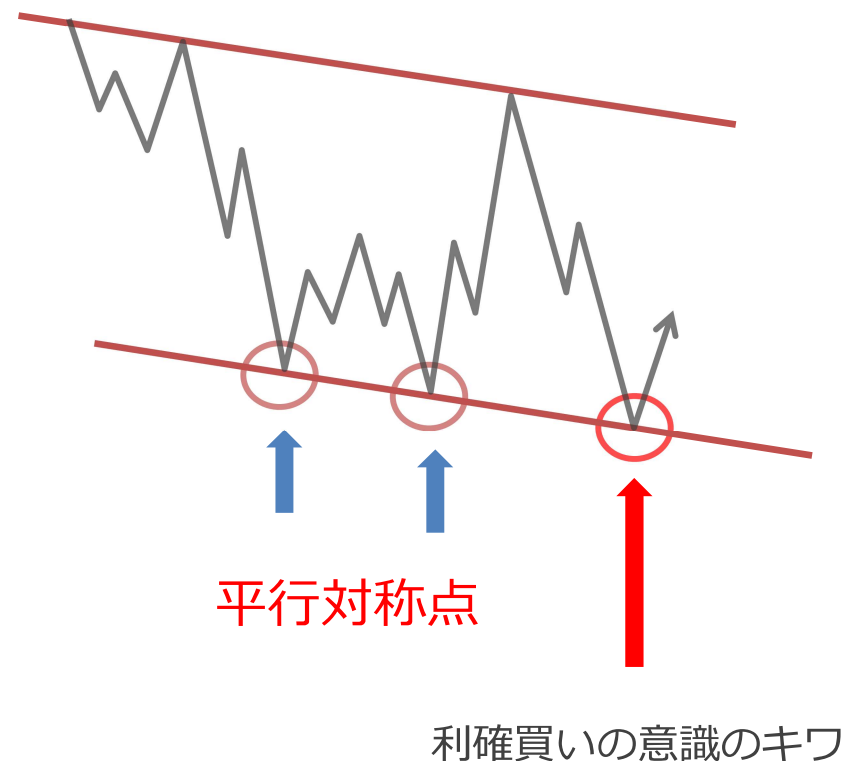
大ダウ目線でザックリと捉えた場合

- ・ 大ダウのチャネルラインは利確も大きくでやすい、小ダウの動きで翻弄されないようにする

・ 利確売りの意識 (≠レジスタンス)



・ 利確買いの意識 (≠サポート)

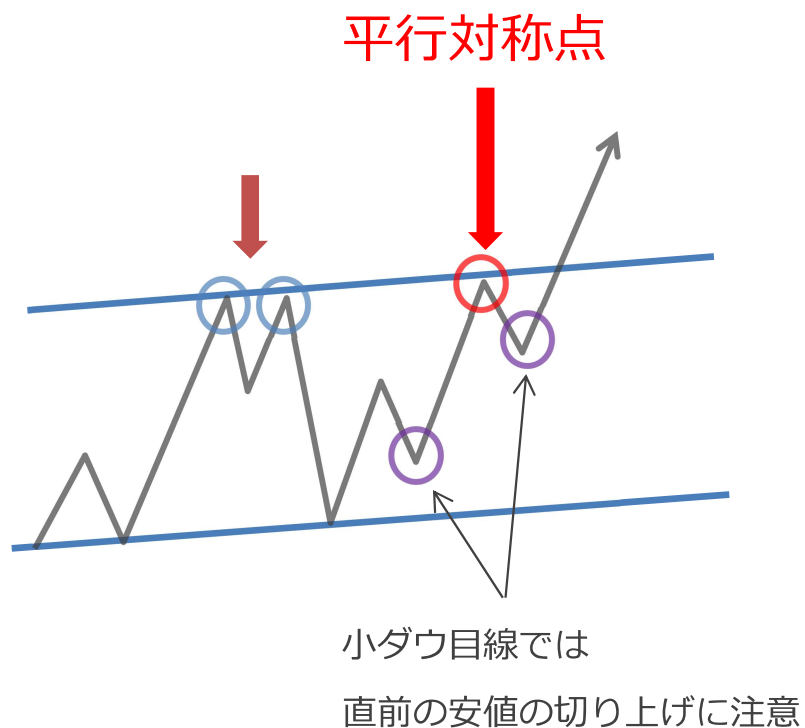


3. チャネルラインタイプ° (小ダウ目線)

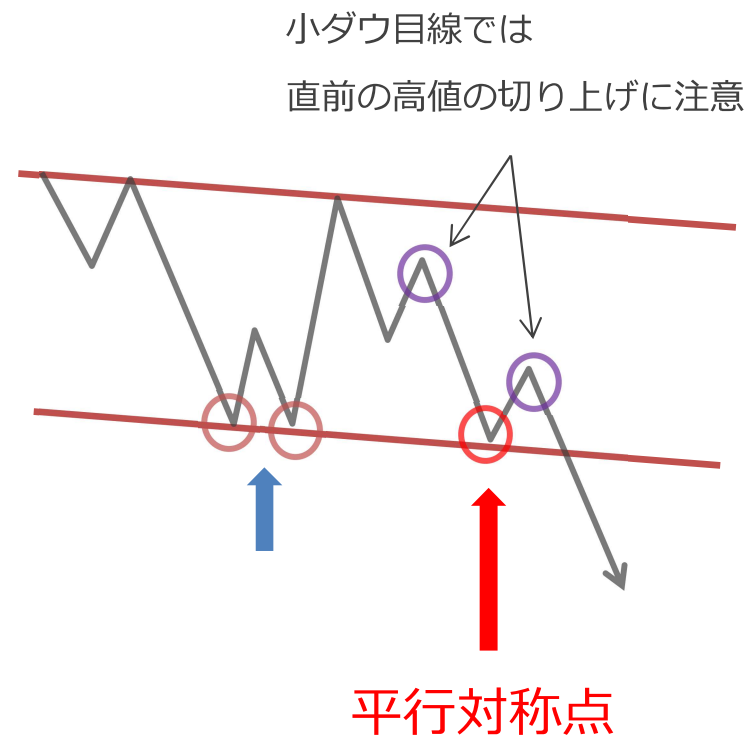
小ダウ目線で細かく捉えた場合

- ・ 到達する直前に安値高値の切り上げ、下げが起きていると抜けやすい

・ 利確売りの意識 (≠レジスタンス)



・ 利確買いの意識 (≠サポート)

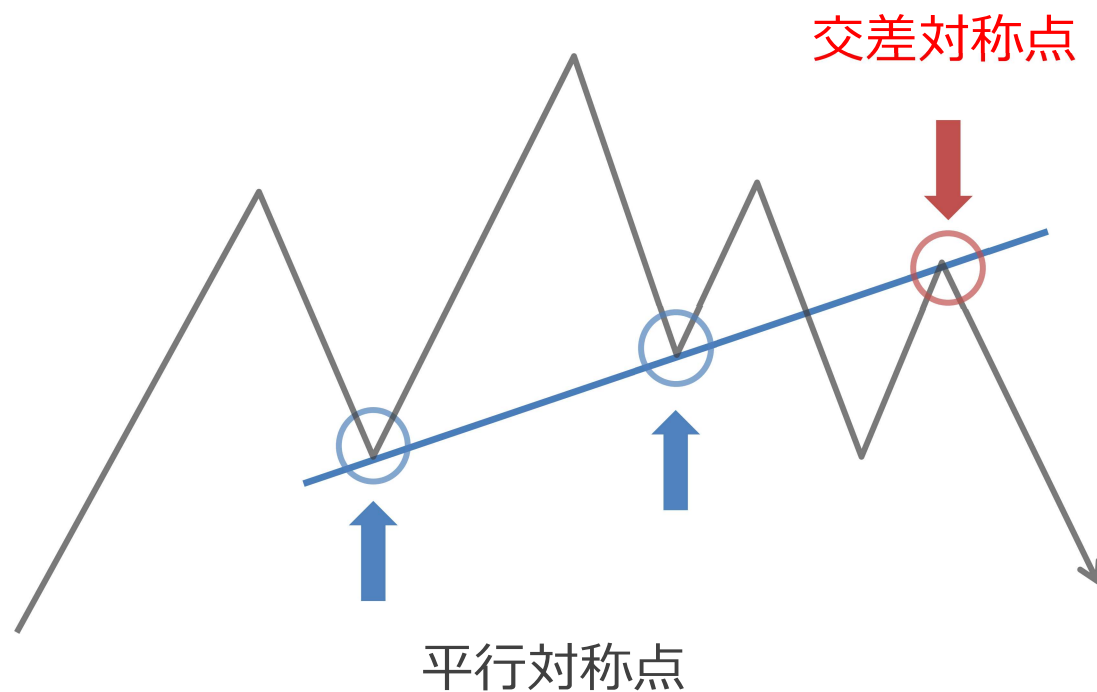


2. 交差（反転）対称

交差（反転）対称とは

ラインに対して安値、高値が反転している関係性

- ・ラインのブレイク&リターン → サポート、レジスタンスの意識が反転している
- ・領域が変化するポイントがどこなのか捉えるための目線



トレンドラインをブレイク
してきたし売れるかも！

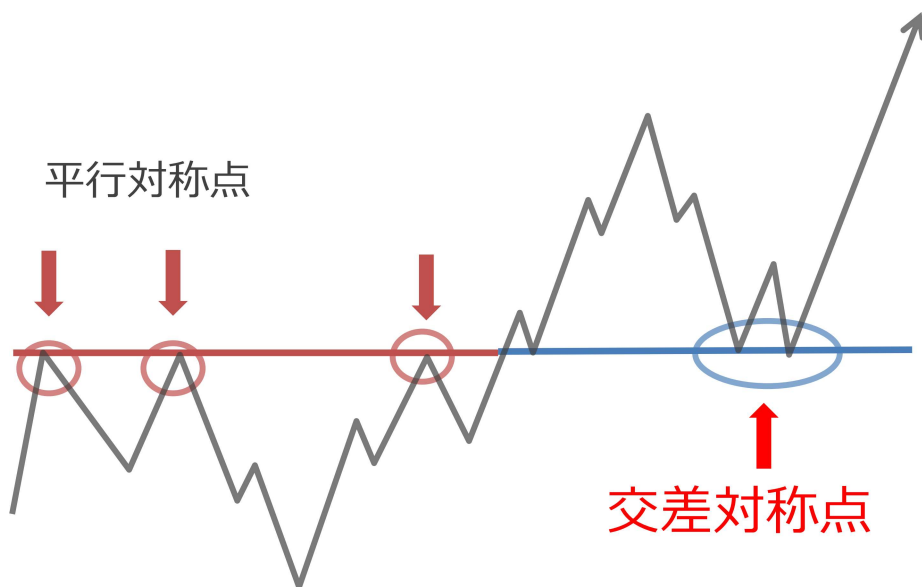


1. ホリゾンタルタイプ^o (大ダウ目線)

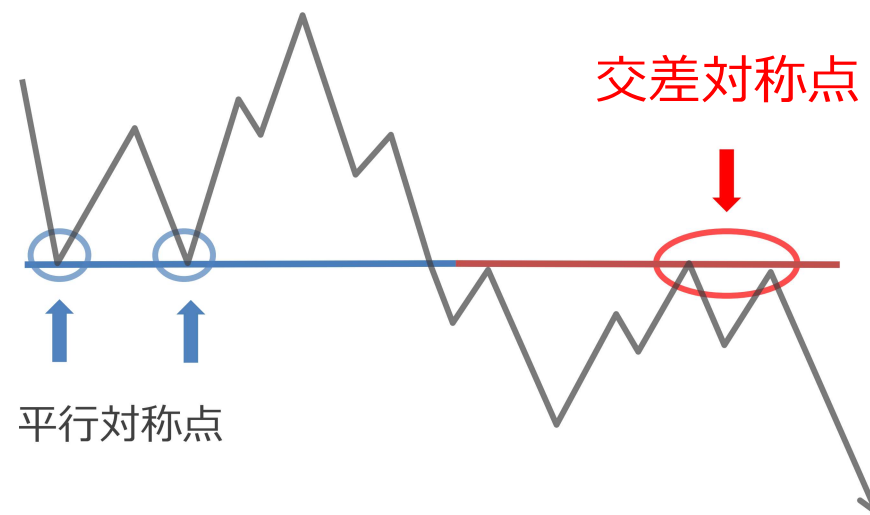
大ダウ目線でザックリと捉えた場合

- ・ 大ダウ目線では反転した交差対称点の距離が離れる場合があるので見逃さないようにする

・ レジスタンス→サポートの反転



・ サポート→レジスタンスの反転

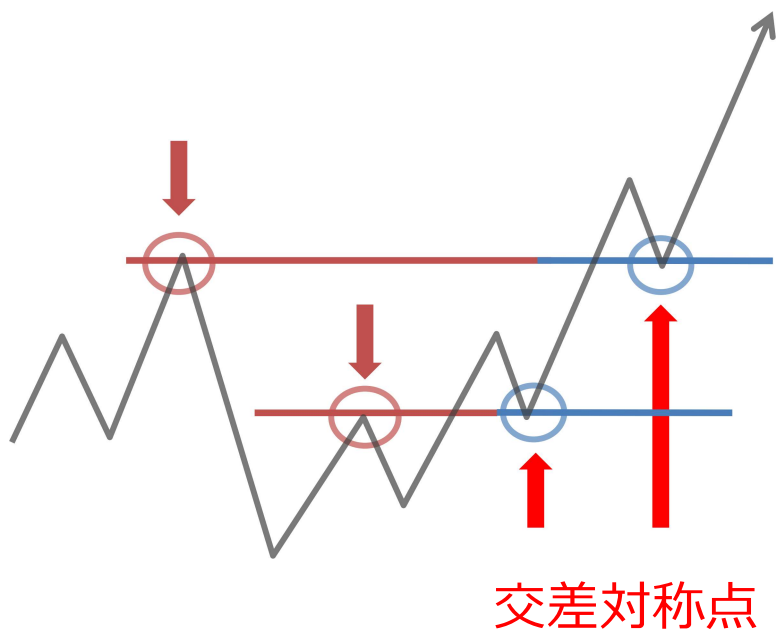


1. ホリゾンタルタイプ^o (小ダウ目線)

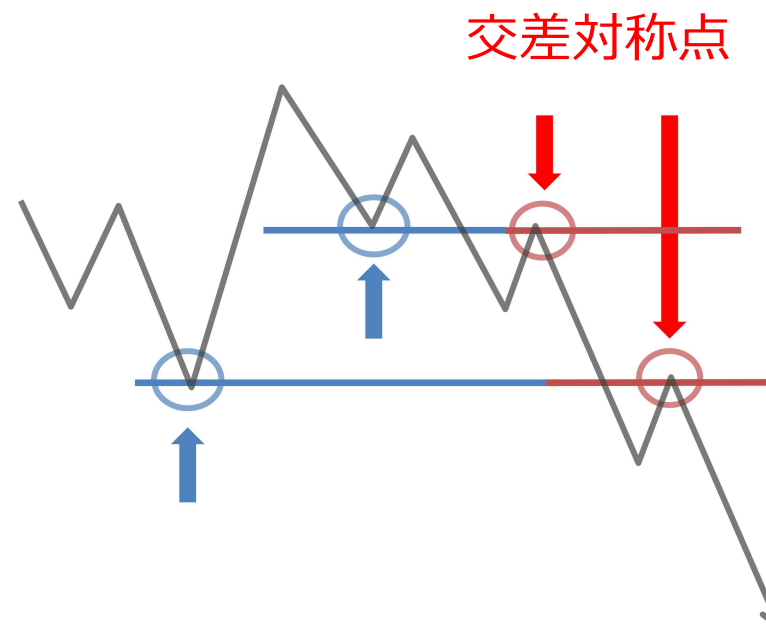
小ダウ目線で細かく捉えた場合

- ・小ダウ目線では近い位置関係にある安値と高値が交差対称点になる傾向がある

・レジスタンス→サポートの反転



・サポート→レジスタンスの反転

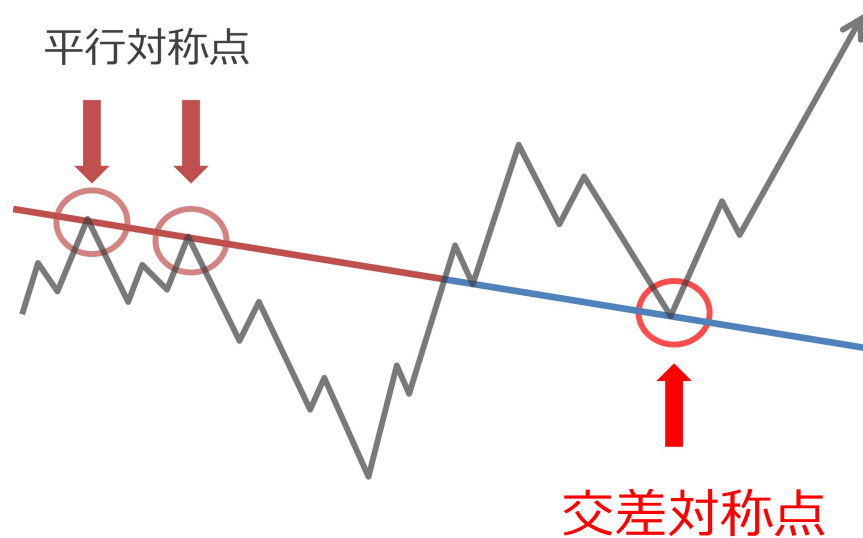


2. トレンドラインタイプ^o (大ダウ目線)

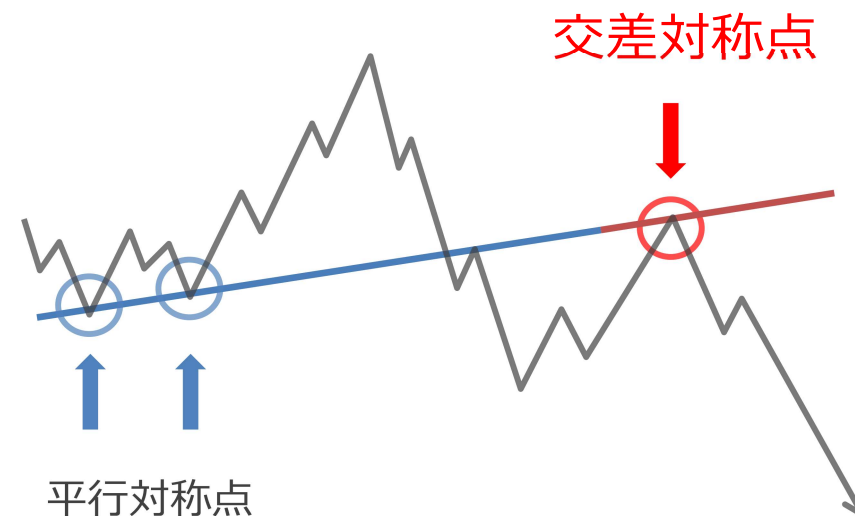
大ダウ目線でザックリと捉えた場合

- ・ ホリゾンタル同様、大ダウの領域の変化は距離が離れている場合もある

・ レジスタンス→サポートの反転



・ サポート→レジスタンスの反転

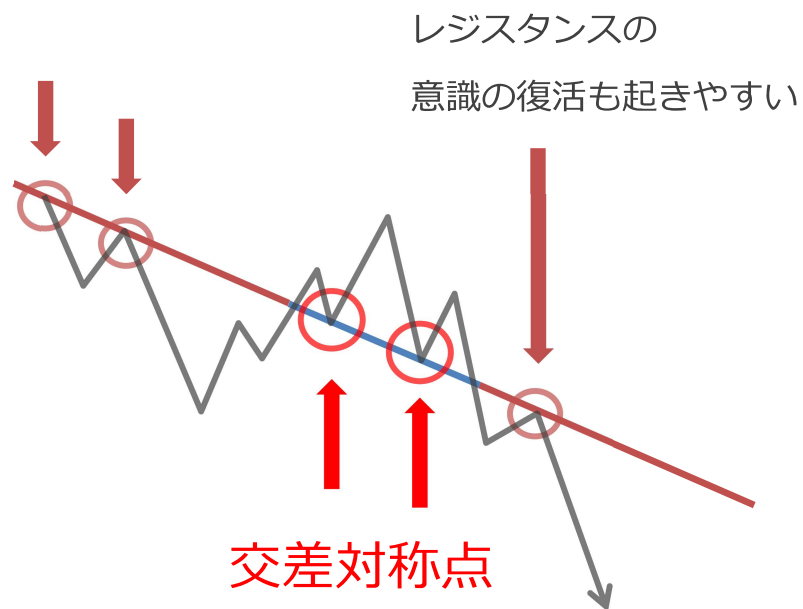


2. トレンドラインタイプ° (小ダウ目線)

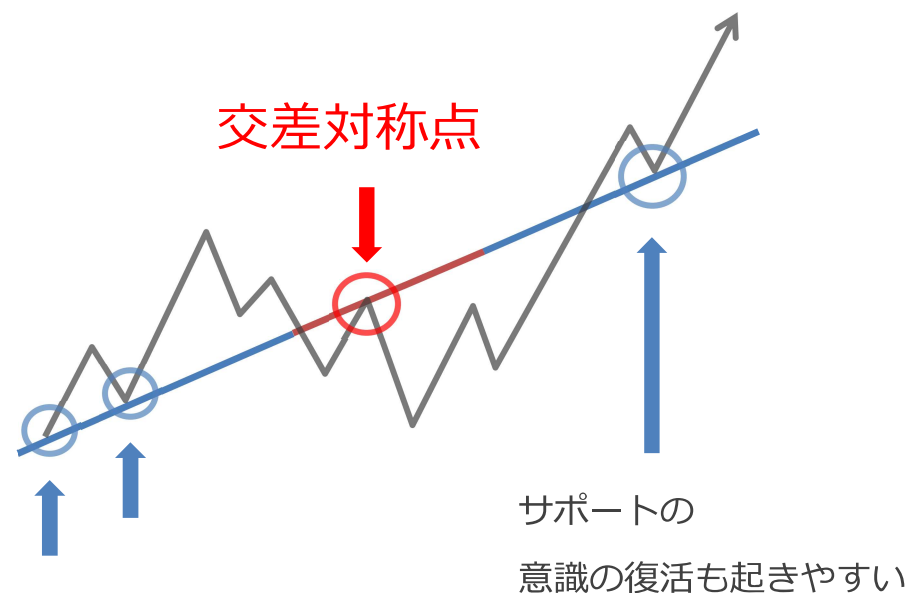
小ダウ目線で細かく捉えた場合

- ・小ダウ目線の交差対称点はキツでない分、ゾーンの抜き差しが起きやすい

・レジスタンス→サポートの反転



・サポート→レジスタンスの反転



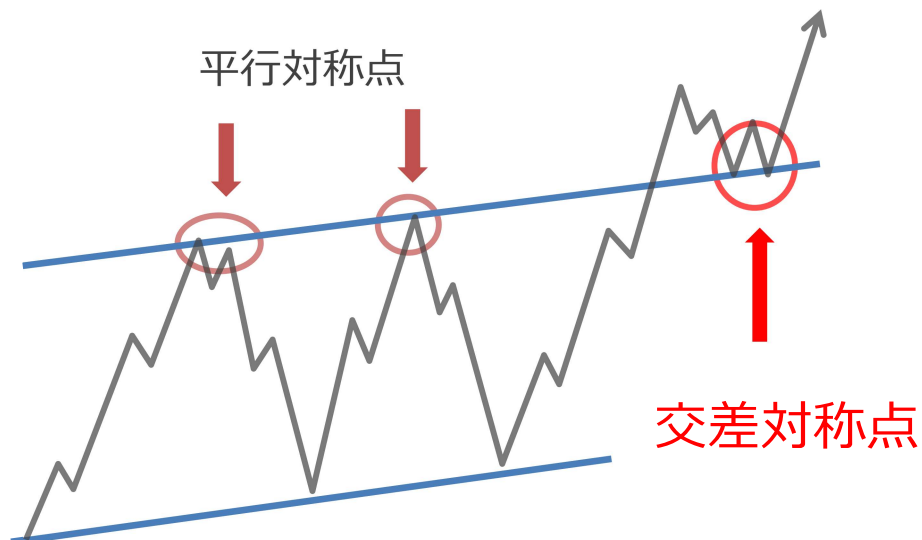
3. チャネルラインタイプ^o (大ダウ目線)

大ダウ目線でザックリと捉えた場合

- ・大ダウのトレンドの続伸を表すので、元の領域に戻りづらい

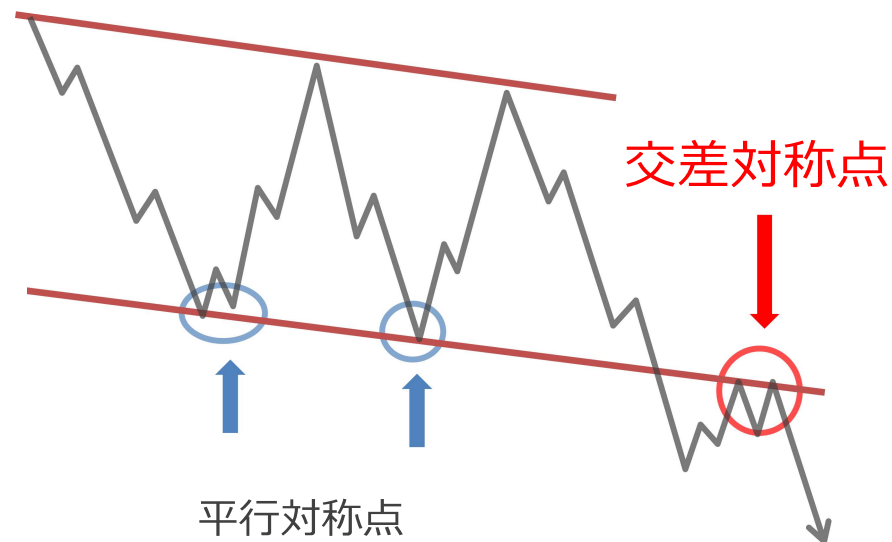
- ・利確売りの意識 (≠レジスタンス)

→トレンド続伸の買いに反転



- ・利確買いの意識 (≠サポート)

→トレンド続伸の売りに反転

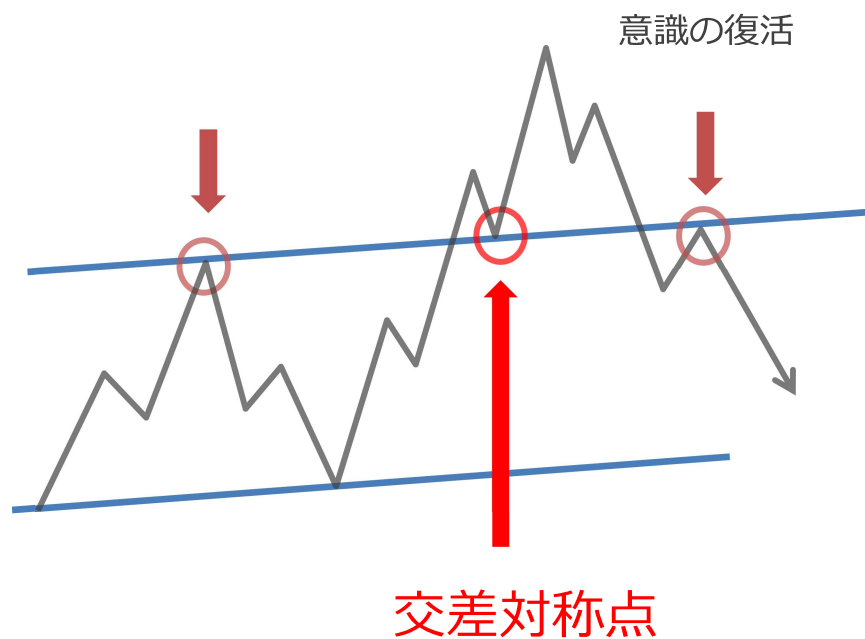


3. チャネルラインタイプ° (小ダウ目線)

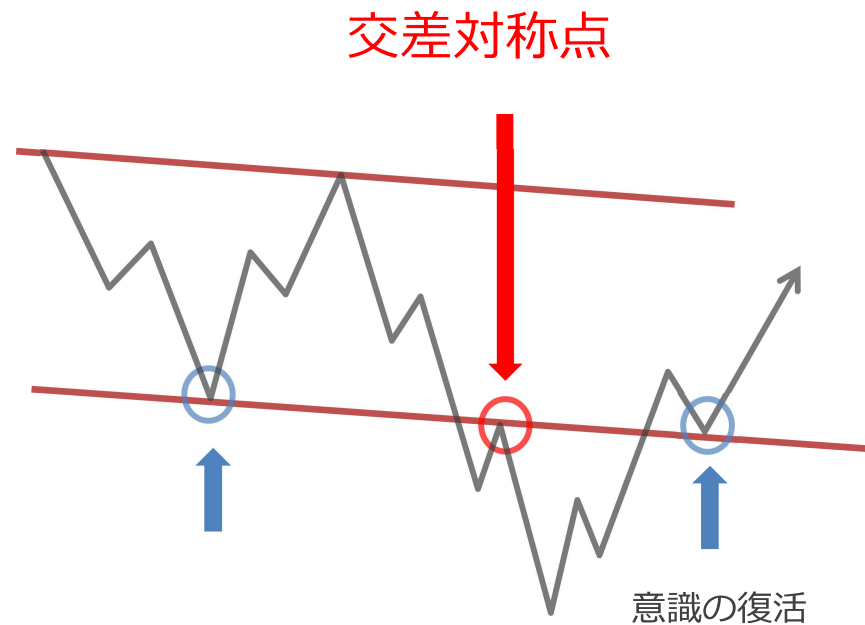
小ダウ目線で細かく捉えた場合

- ・小ダウのトレンドの続伸は発生するが、元の領域に戻りやすい

・利確売りの意識 (≠レジスタンス)



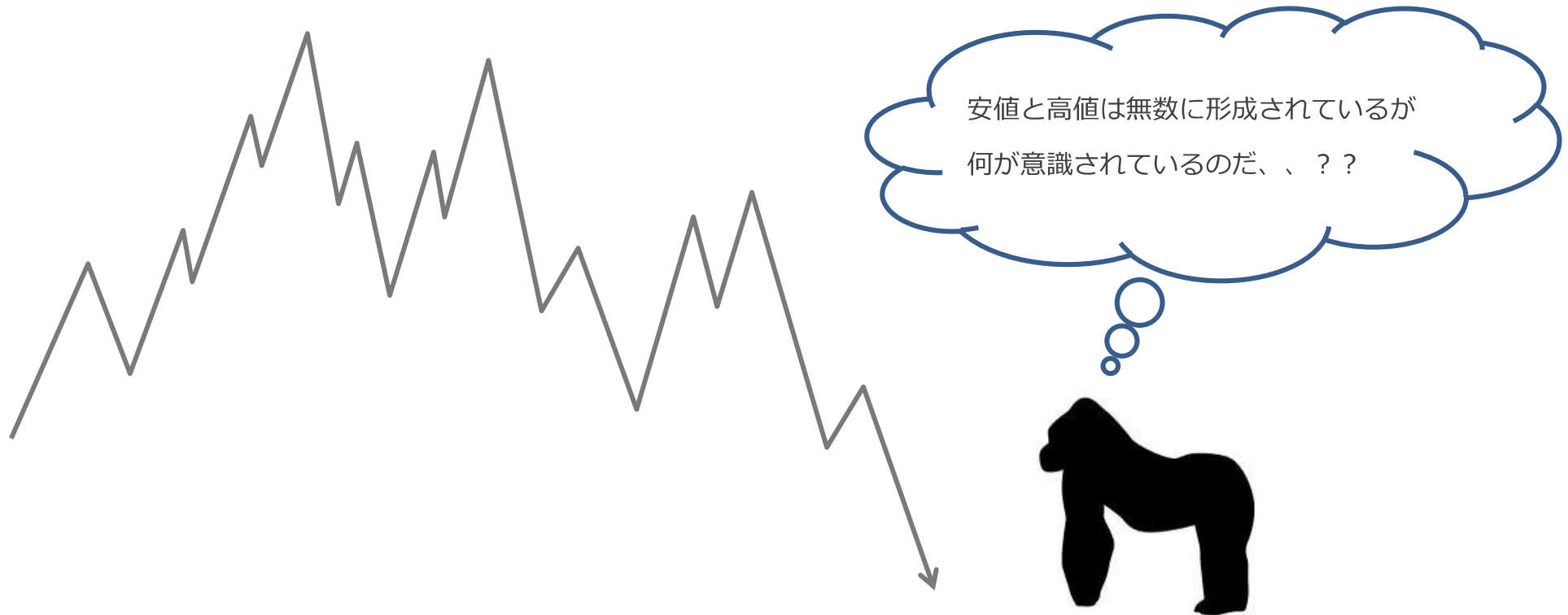
・利確買いの意識 (≠サポート)



3. イメージ集

以下の2点を意識してチャート見ていきましょう

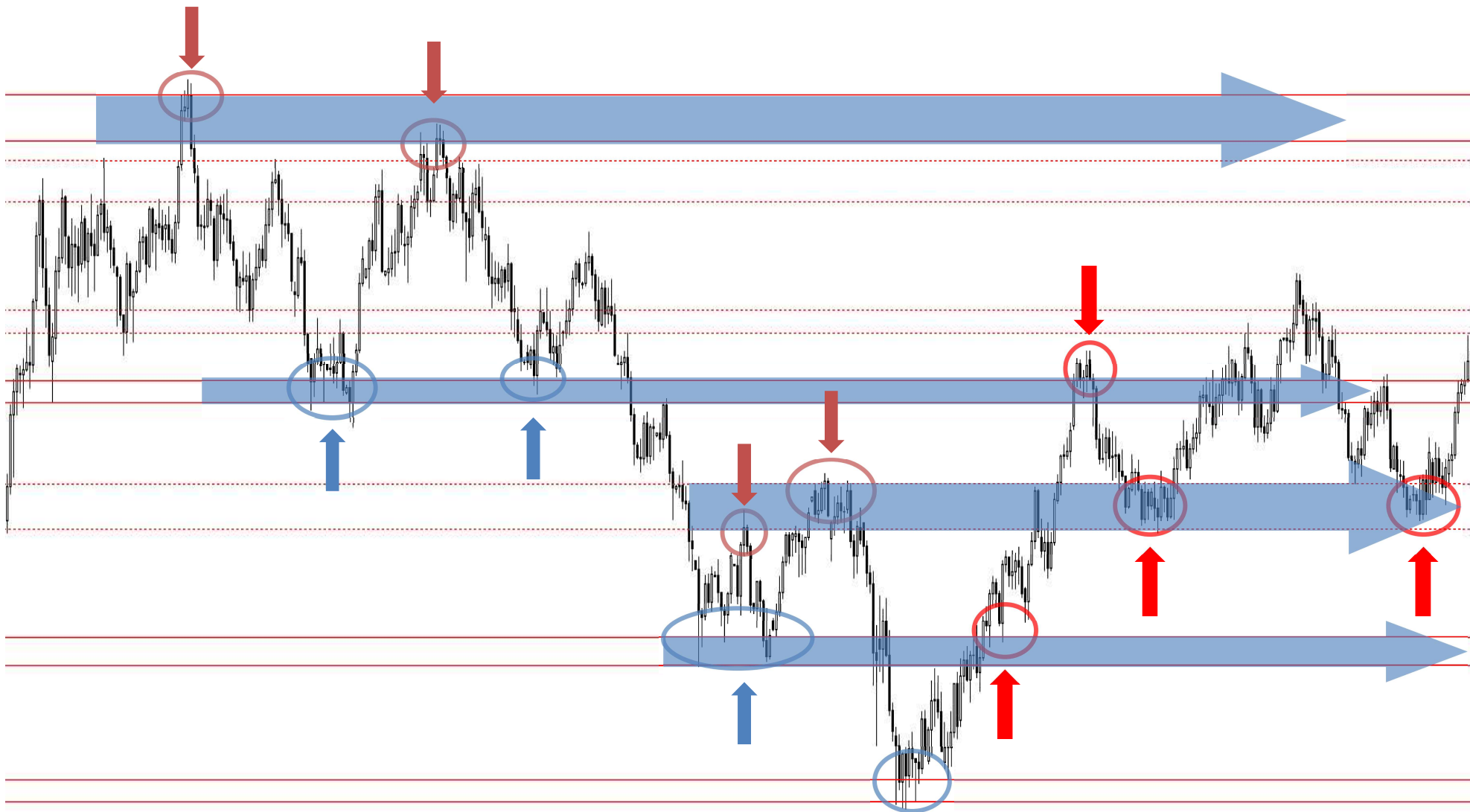
- ・チャートを見て、どういうラインに対してどの安値と高値が何の対称関係にあるのか
- ・今注目しているラインは性質としてはどういうものであったか



イメージ集① ホリゾンタルライン

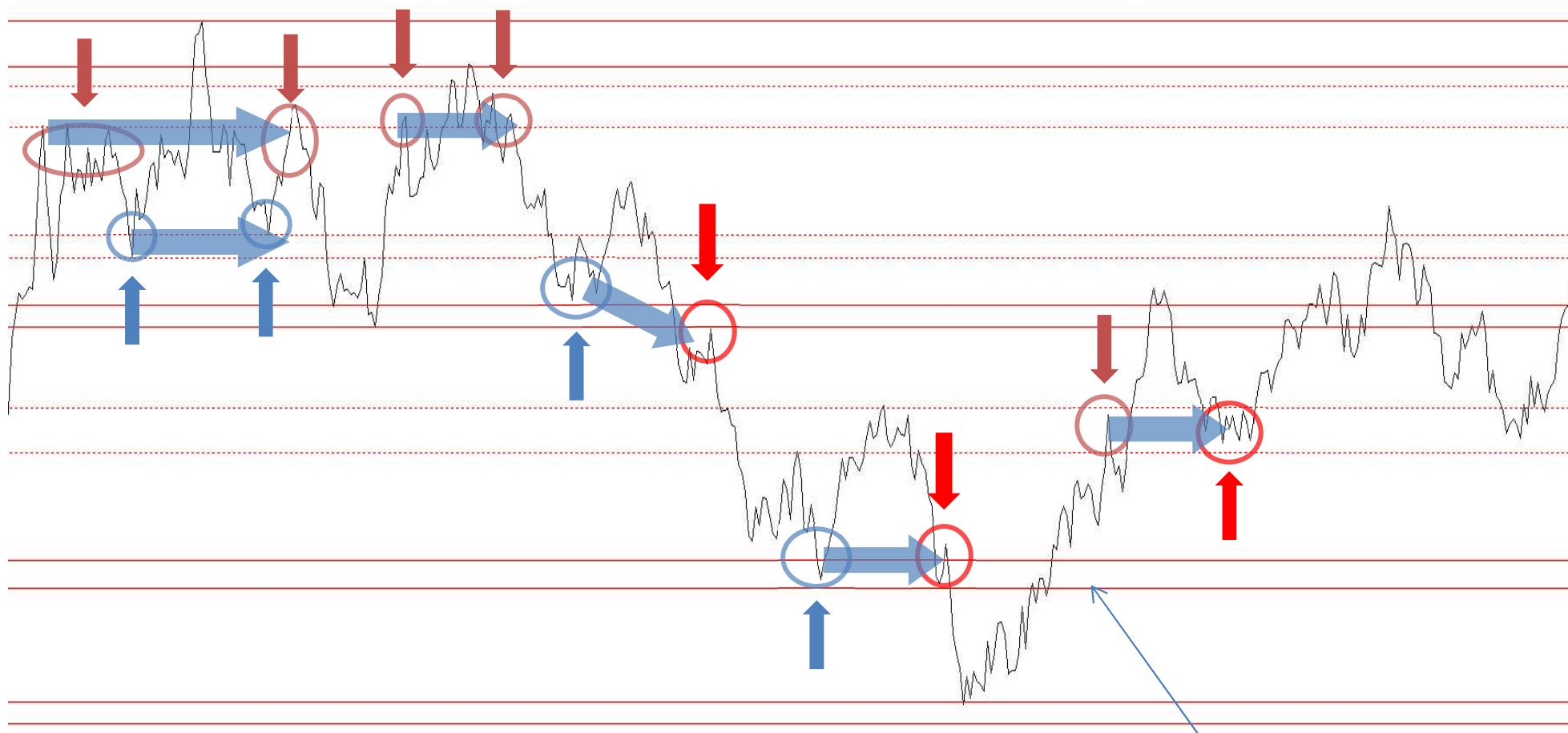
大ダウ目線は目視で確認しやすい安値と高値から、大きな領域を捉えるイメージ

近い距離の安値→安値、高値→高値はゾーンの感覚で1つの平行対称点くらいに捉える



イメージ集② ホリゾンタルライン

小ダウ目線では近い距離の対称関係になりそうな安値と高値を捉えるイメージ
ラインチャートにして実体を捉えると見やすい



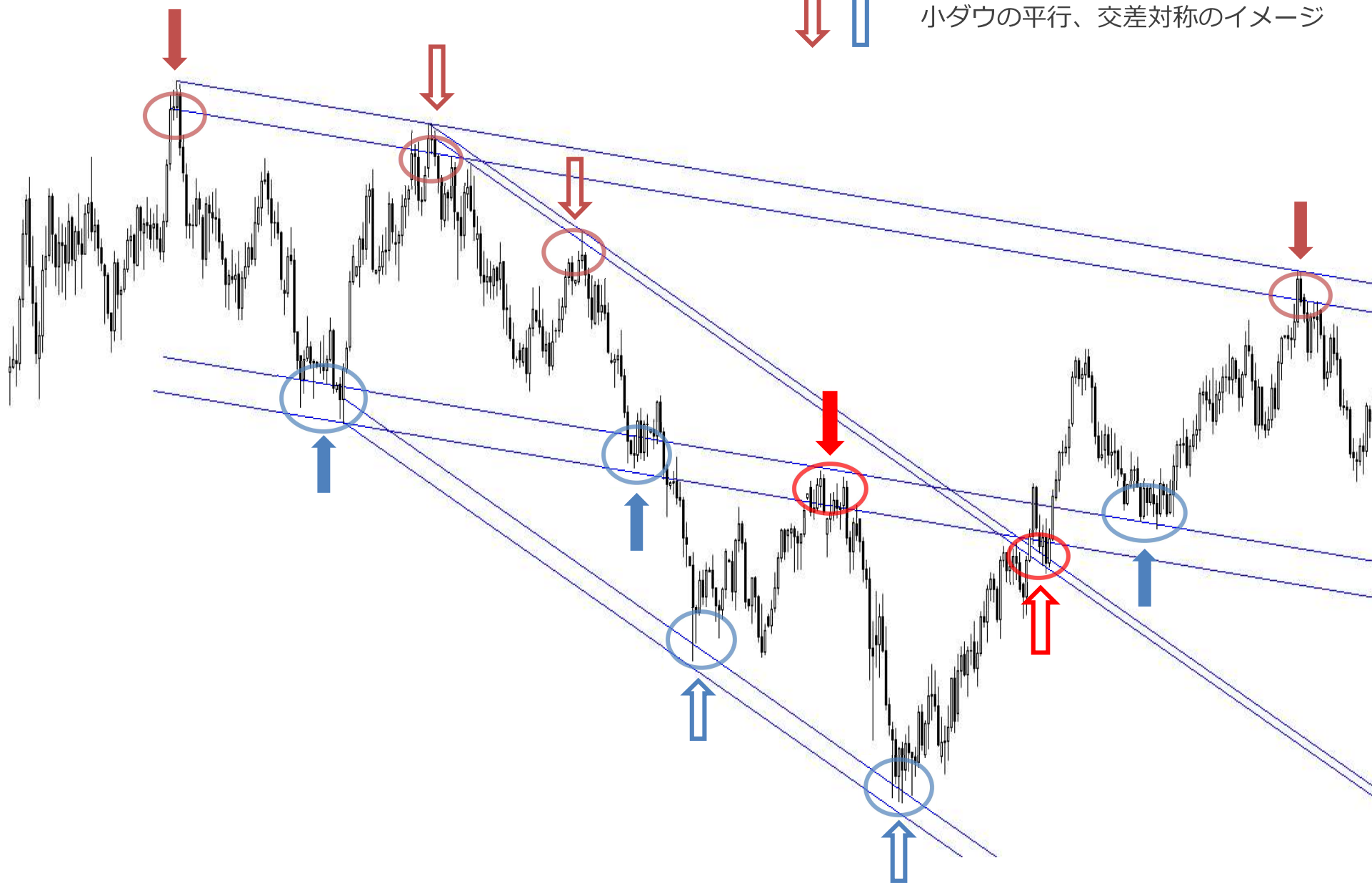
実体になると
ここにある交差対称点は分かりづらい

イメージ集③ トレンド&チャネルライン

P22、23と同じチャートです

↓ ↑ 大ダウの平行、交差対称のイメージ

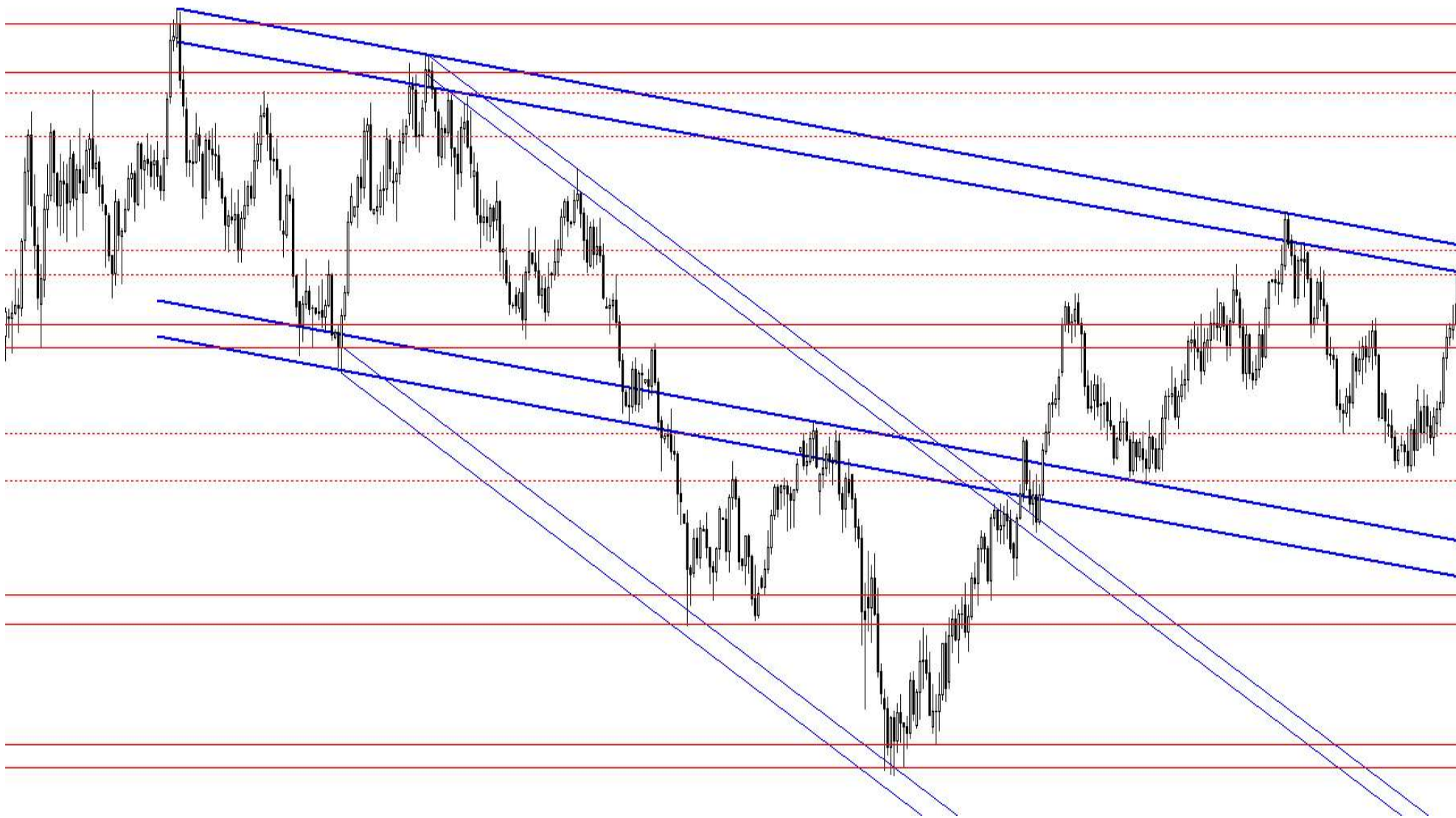
↓ ↑ 小ダウの平行、交差対称のイメージ



イメージ集④ ①～③の全部

ホリゾンタルとトレンド＆チャネルラインを全部合わせたイメージ

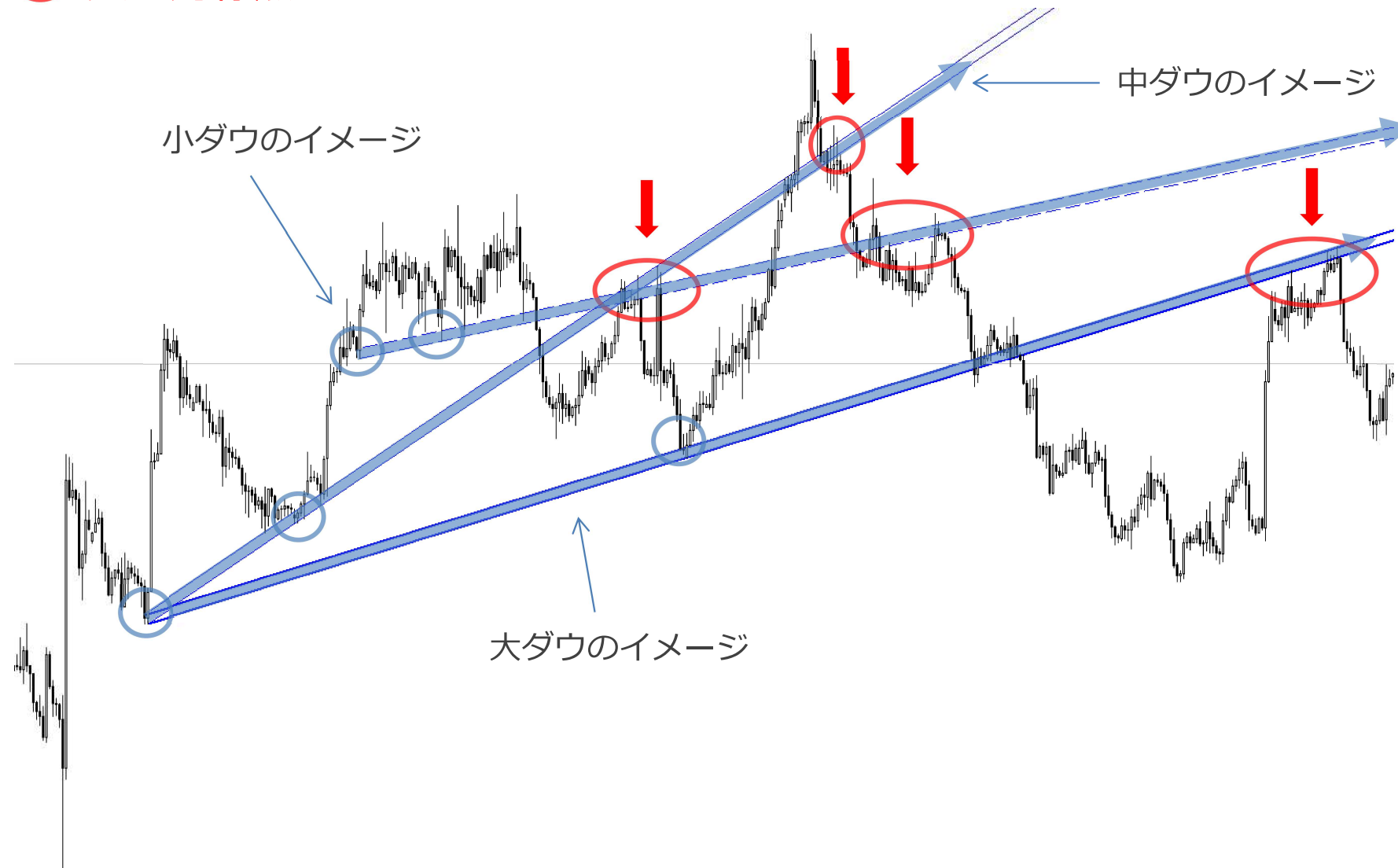
全部引くと視点が定まらず捉えられなくなるので、目視で確認できるところは脳内で処理する



イメージ集⑤ 上昇トレンドライン

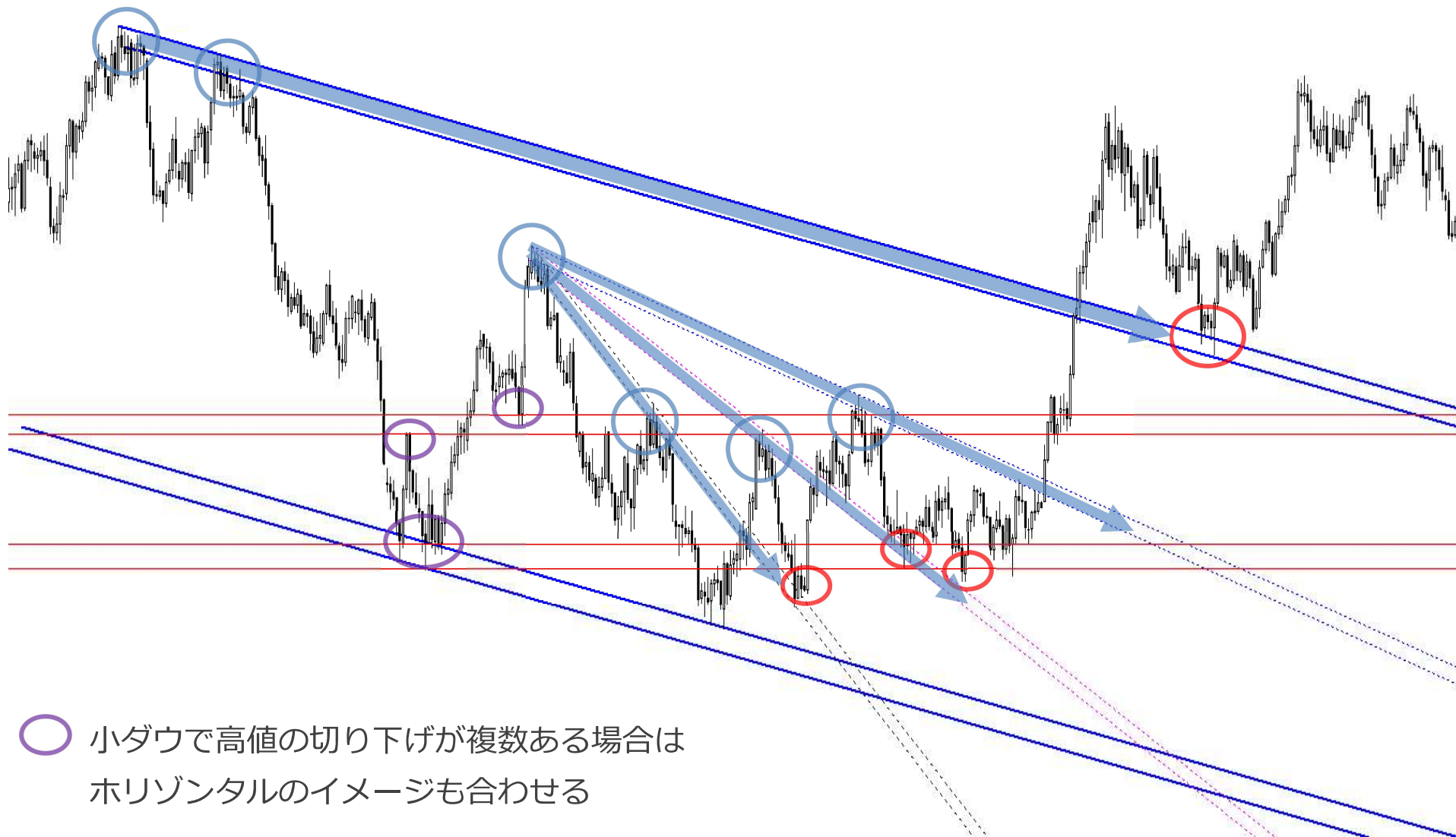
小ダウ→中ダウ→大ダウ、と意識が派生する流れをイメージできるとベター

○ 交差対称点



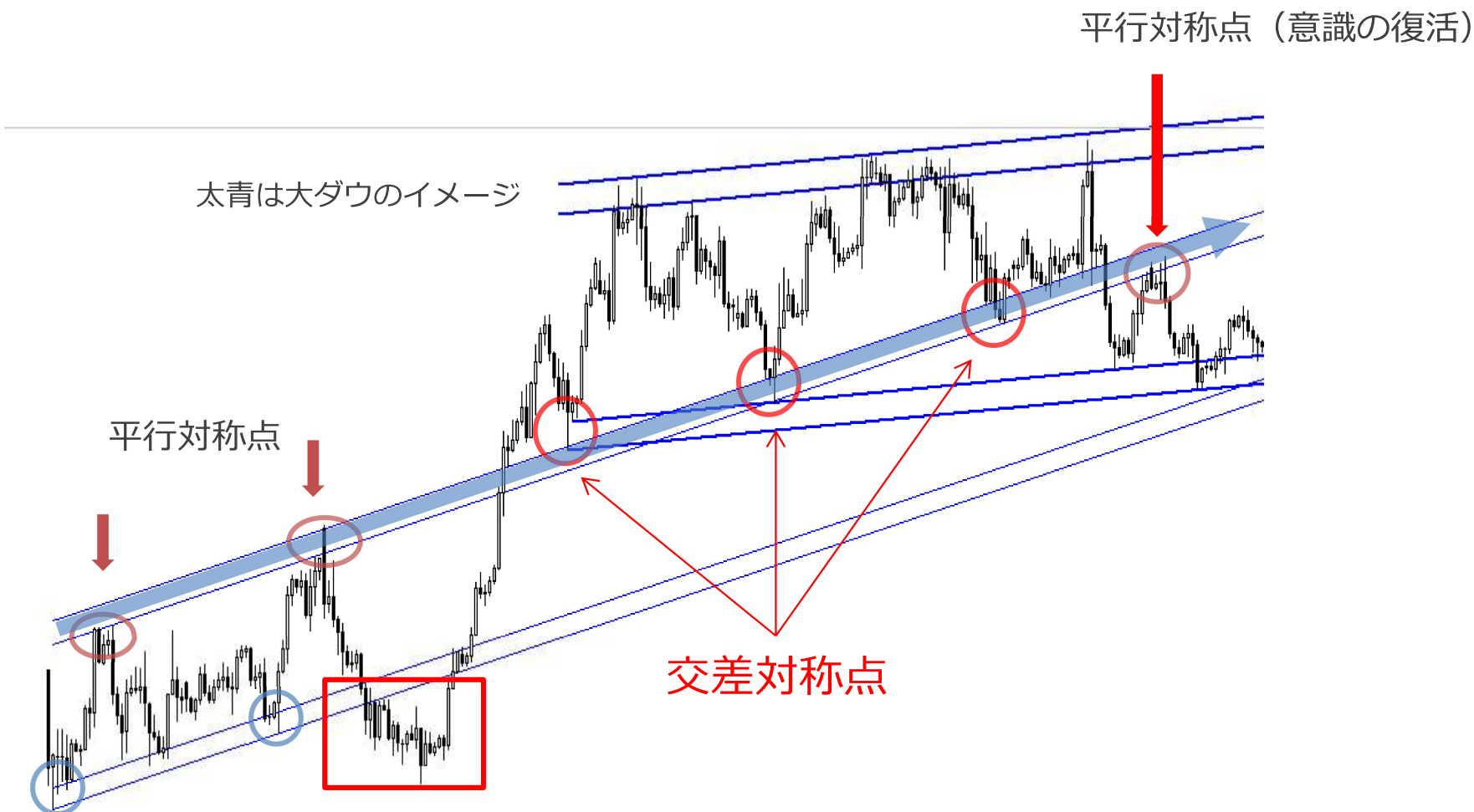
イメージ集⑥ 下降トレンドライン

小ダウで角度が急なラインを引いても意識は遠のきやすい



イメージ集⑦ チャネルライン

小ダウの上昇チャネルラインに対して意識が続いているイメージです

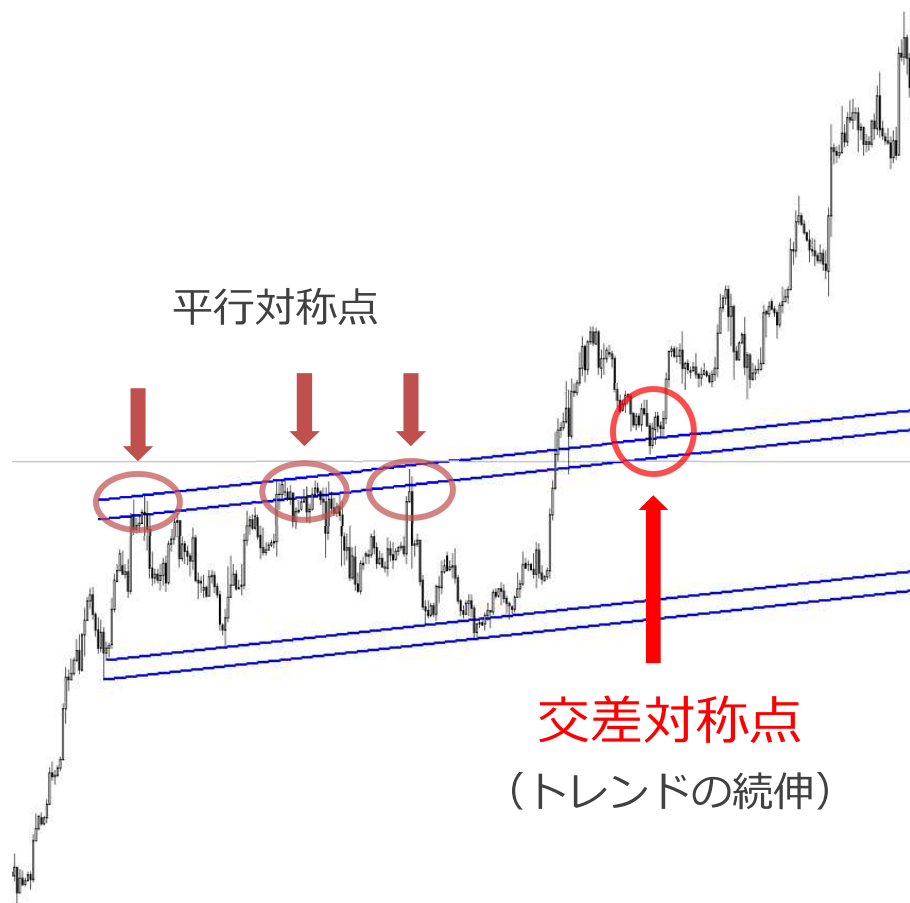


小ダウ目線で引いたトレンドラインは抜き差しが起きやすい

イメージ集⑧ チャネルライン

1つのターンに対するブレイク&リターンまでの動きですが、イメージは大ダウに近いです

本格トレンドの局面のイメージ

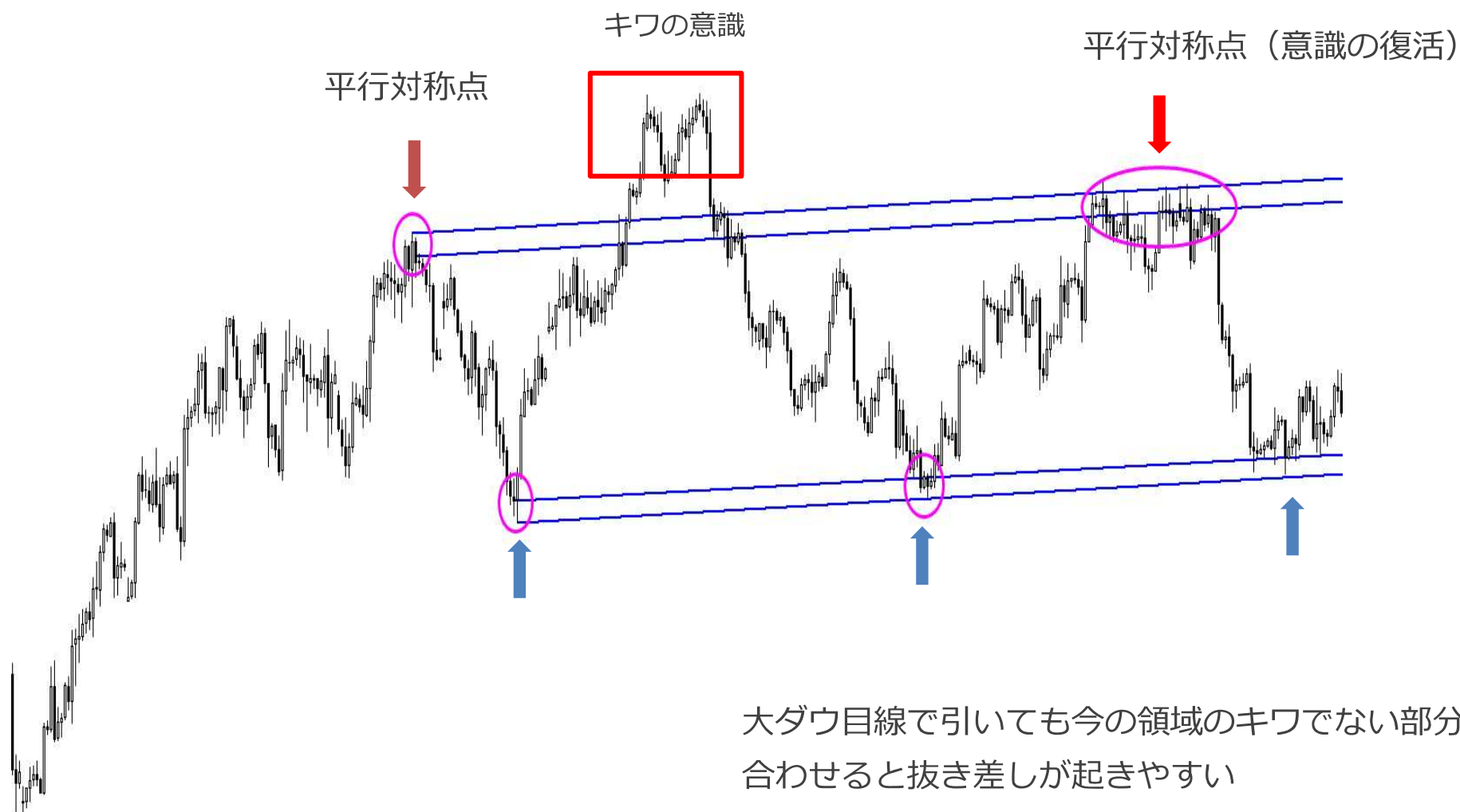


トレンドの最終局面のイメージ



イメージ集⑨ チャネルライン

大ダウでもトレンド最終局面のイメージです



まとめ

■ 平行対称

- ・ ラインに対して安値や高値が延長上にある関係性
- ・ サポート、レジスタンスの意識が同じ
- ・ 今まさに意識されている領域がどこなのか捉えていくための目線

■ 交差（反転）対称

- ・ ラインに対して安値、高値が反転している関係性
- ・ サポート、レジスタンスの意識が反転している
- ・ 領域が変化するポイントがどこなのか捉えるための目線